

Web会議の音声品質向上

出張の削減

社内コミュニケーションの活性化


株式会社スノーピークビジネスソリューションズ 様

本社:愛知県岡崎市能見通1-61ウメラビル 設立:2016年7月1日
 代表者:村瀬 亮 資本金:6,000万円
 事業所:国内3拠点 従業員数:34名*
 ※2019年10月末現在

導入機種:YVC-200/2台、
 YVC-1000/1台(+拡張マイクYVC-MIC1000EX)
 導入時期:2019年3月
 基本構成:Microsoft Teamsを用いて頻繁に行われるWeb会議
 にてYVC-200を使用。合わせて、2拠点をつないで毎日
 開催する全社員参加の「昼礼」にYVC-1000を導入。

ユニークな「キャンピングオフィス」を舞台に、 Office 365とヤマハ製品でチームビルディングを実践

YVC-200/YVC-1000 活用効果のポイント

社内でも社外へも気軽に持ち運べて、
簡単操作でスムーズに会議を始めることができる (YVC-200)

拡張マイクを追加することでより広範囲の発話を集音し、
クリアな音声を届けることができる (YVC-1000)



■ 活用提案のできるOffice 365リセラーとして、Teamsを使い倒す

- Office 365を導入・利用し、そこで得たノウハウを元にリセールビジネスを展開
- 頻繁に行われるWeb会議の音声品質向上に向け、ヤマハのスピーカーフォンを導入

企業のコミュニケーション強化に主眼を置いたさまざまなICTソリューションを手がける、株式会社スノーピークビジネスソリューションズ(株式会社スノーピークの100%子会社)では、Office 365を活用したチームビルディングの可能性に早くから注目し、他社に先駆けて導入。そこで蓄積されたノウハウを元に全国の企業に向けてOffice 365のリセールビジネスを展開。2016年に名古屋支店を拡張・移転し、社員が岡崎本社と名古屋支店に分かれたこともあり、ビジネスチャットやWeb会議の機能を有する「Microsoft Teams」、社内SNSの「Yammer」などをまさに「使い倒して」チームビルディングを実践しています。なかでも「Microsoft Teams」を利用した拠点間や社外とのWeb会議は頻繁に行われ、週に1人平均20~30回近くに及ぶという。ここで、よりクリアな音声を求める同社が導入・利用しているのがヤマハのスピーカーフォン「YVC-200」と「YVC-1000」です。

■ オープンスペースでも聞き取りやすいスピーカーフォンを約3カ月かけて選定

- 比較的小規模のWeb会議と全社員参加の「昼礼」でスピーカーフォンを使用
- オープンな「キャンピングオフィス」でのWeb会議は周囲の雑音が課題



YVC-200の活用シナリオは主に2つ。ひとつは、本社・支社・外部をつないで頻繁に行われる比較的小規模のWeb会議。もうひとつは、本社と支社の全社員が参加して毎日行われる「昼礼」で、こちらはYVC-1000と合わせて利用しています。岡崎本社と名古屋支店のオフィスは、コミュニケーションを深める「舞台」として同社が提案する「キャンピングオフィス」のショールームとなっています。ウッディ

なデザインで統一された空間には、スノーピークブランドのテーブルやチェアのほか、大きなドーム型テントや焚火台まで配置され、コミュニケーションが取りやすく、新しい発想の生まれやすいオフィスとなっている。全体がオープンな空間ということもあって、Web会議での音声品質が課題となりました。キャンピングオフィスでのWeb会議に適したスピーカーフォンが欠かせないと考えた同社は、約3カ月をかけてさまざまな製品を試すことに。その結果、周囲のノイズに埋もれることなく、クリアな音声を届けることができたヤマハ製品の選定に至りました。特にYVC-200については、軽量&コンパクトでどこにでも気軽に持ち運びができ、バッテリー搭載のため電源を気にせずワイヤレスで利用できる点や、シンプルな操作性などを高く評価され、拠点間Web会議などで大活躍。今後は外出先や在宅、遠隔商談など、さまざまなテレワークシーンでの利用も期待されています。

■ 拡張マイク追加で、大人数の声をしっかり集音&隅々までクリアな音声を届ける

- 全員参加の「昼礼」をWeb会議にて毎日実施
- 岡崎本社にはYVC-1000+拡張マイクを導入し、大人数の声をしっかり集音

毎日11:30から開催される「昼礼」は、同社独自開発のWeb会議「INTERACTIVISION」を活用し全社員参加で実施されます。あたかも同じ会議空間にいるかのようにお互いの映像をプロジェクターで大画面に映し出し、音声については、参加者の多い岡崎本社ではYVC-1000を、3~4名が参加する名古屋支社ではYVC-200を使用することになりました。岡崎本社については30名前後の参加者がスクリーンを囲み、スピーカーフォンからの距離も遠くなるため、拡張マイクを追加することで参加者全員の声をしっかり集音。本体の高出力スピーカーによって、名古屋支社の音声をクリアに届けることに成功しています。他社製品にはないこうした拡張性やクリアな音声は、YVC-1000を選定する上でのポイントとなりました。



ご活用
いただいた
機器

YVC-200

1~4名程度の打合せに最適。バッテリー搭載でミーティング
コーナー・自宅・外出先などあらゆる場所で利用可能。

希望小売価格:30,000円(税別) JANコード:ホワイト(W)/49 57812 63866 1、ブラック(B)/49 57812 63865 4

YVC-1000

8~40人規模の中大会議に最適。
マイク1台で8人規模、5台まで連結可能。

希望小売価格:120,000円(税別) JANコード:49 57812 55991 1

お客様の声



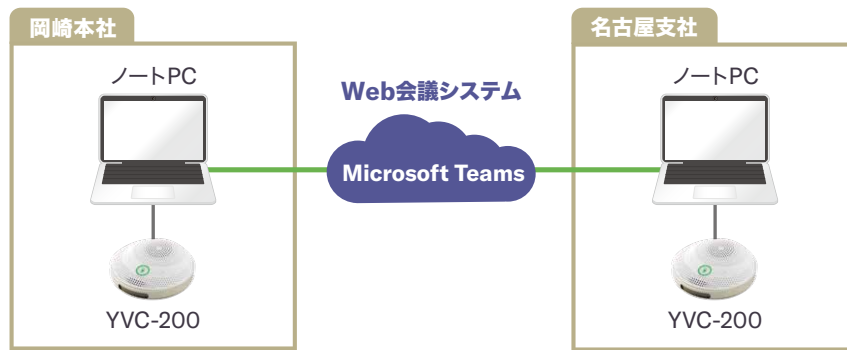
株式会社スノーピークビジネスソリューションズ
WIS事業本部長 兼 テレクションチーム責任者
働き方シニアコンサルタント
坂田 真也 様

**バッテリー駆動できるYVC-200は、
アウトドアシーンの「キャンピングオフィス」にも最適**

白と黒が選べるYVC-200は、シンプルで優しい感じのデザインが社員の間でも好評です。軽くてモバイル性に優れるので、基本フリーアドレスで各自が好きな場所で仕事をするスタイルの「キャンピングオフィス」にもピッタリです。実は「キャンピングオフィス」には、弊社オフィスのような屋内型のほかに、屋外でのアウトドアバージョンもあります。アウトドアでは電源確保が難しくなりますが、YVC-200ならバッテリー駆動で利用できます。今後もOffice 365やスノーピーク製品同様、「キャンピングオフィス」に欠かせない関連ツールのひとつとして、お客様へ提案していきたいと思っております。

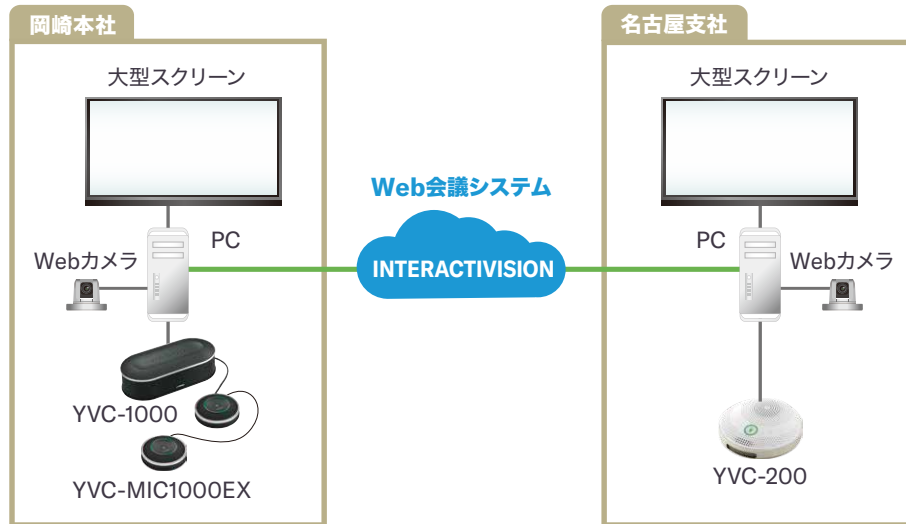
株式会社スノーピークビジネスソリューションズ様におけるYVC-200/YVC-1000の活用方法

頻繁に実施する少規模Web会議 YVC-200/2台を、岡崎本社と名古屋支社に導入(各1台)し、小規模のWeb会議で使用。



※オープンな「キャンピングオフィス」内で、各自が好きな場所に持ち運びWEB会議を実施。

毎日開催する“昼礼” YVC-1000/1台(+拡張マイクYVC-MIC1000EX)を岡崎本社に導入、社員全員参加で毎日実施の“昼礼”で使用。



※参加者の多い岡崎本社ではYVC-1000を、3~4名が参加する名古屋支社ではYVC-200を使用。

YVC-200の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/>



YVC-1000の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-1000/>



●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の登録商標または商標です。



音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ **03-5651-1838** ■ FAXによるお問い合わせ先 📠 **053-460-3489**

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>